



栄光の未来

R6.5.21 発行

第6号

生徒総会
終了！

真の「自治」に向けてスタート！

21日（月）に行われた生徒総会では、提出された5つの議案それぞれに対して、生徒の皆さんが真剣に考え、責任をもって承認の意思表示を示している姿を見ることができました。事前に各学級で行われた議案書審議も含め、しっかりと話し合いがされており、今年度の東石山中生徒会が進む方向を全校生徒で確認・決定することができました。大成功の生徒総会であったと思います。

生徒総会は、全校生徒による意思決定機関であり最高決議機関です。ここでの決定は、会員である生徒一人一人の意思によってなされるものであり、他での決定よりもはるかに重い意味をもちます。今回、議案書審議や総会での審議、採決の手續きに全会員が主体的にかかわり、一人一人が意思表示をする「自由と責任」のもとで5つの議案を可決承認しました。このことの意味を皆さん一人一人がしっかりと受け止め、充実した生徒会活動に向けて全員で取り組んでもらいたいと思います。

生徒会に求めることはただ一つ。生徒による「自治」です。言い換えれば「生徒の手による学校づくり」であり、このことは生徒の皆さんに何回も話してきたことです。昨日の生徒総会で、皆さんはそのスタートラインに立ちました。あとは、とことんやるだけです。総会の場で、複数の生徒から語られた「挑戦」の言葉に、胸の高鳴りを感じました。頑張れ、生徒会！

生徒総会の最後に生徒の皆さんに話した中で、ある詩人の言葉を紹介しました。



エラ・ウィーラー・ウィルコックス

19世紀半ばから20世紀前半を生きたアメリカ合衆国の詩人。

「吹いている風がまったく同じでも、ある船は東へ行き、ある船は西へ行く。進路を決めるのは風ではない、帆の向きである。人生の航海でその行く末を決めるのは、なぎでもなければ嵐でもない、心のもち方である。」

もともとは生き方について語られた言葉ですが、これから生徒会活動に力を尽くしていこうとする皆さんに贈りたい言葉として紹介したものです。

中学校はたくさんあり、生徒会活動を進めている中学生もたくさんいます。それぞれの学校として状況の差こそあれ、「中学生」「生徒会」というくくりでは同じと言えます。同じくりに置かれている中で、生徒会活動をどう展開していくかは、それぞれが掲げる「目標」（東石山中らしく言えば「目指す姿」）によって決まります。そして、どこまで高められるかは、生徒会活動や自治にかける「志」によって決まります。

東石山中生徒会が、掲げた「帆」と会員全員の「心、やる気」によって充実した活動を展開してくれることを期待しています！



責任をもって賛成・反対を決める！



スムーズな議事進行は、議長団のおかげです。とても立派でした！